

第3学年 社会科（公民的分野）学習指導案

1 単元名 現代社会の見方や考え方「社会集団の中で生きる私たち」（東京書籍 p. 24～31）

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領社会科公民的分野の内容（1）イを受け、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解させることをねらいとしている。

本単元を通して、「物事の決定の仕方」や「きまり」に関する社会的事例を示し、その意義を考えさせることを通して現代社会の見方や考え方の基礎を身に付けさせる。その意味で、「よりよい決定の仕方とはどのようなものか」「なぜきまりが作られるか」「私たちにとってきまりとはなんだろうか」などといった問いを追究し、現代社会の見方や考え方の基礎を身に付けさせることをねらっている。

- 本学級の生徒は、7月に実施したアンケート調査では、8割の生徒が「社会の授業が好きだ」「社会の授業に意欲的に取り組んでいる」と答えた。中でも、グループでの話し合い活動や討論型の授業は7割の生徒が好きと答えている。しかし、自分の考えたことを文章に表現することに苦手意識をもつ生徒が4割いる。

以上の結果より、意思決定を取り入れた討論型の学習を通して、自分の意見をまとめ、発表させるようにすることが必要であると考え。そこで、自分の考えを文章で記述させるようにワークシートを工夫し授業を組み立てていく。また、グループでの話し合いを通して、消極的な生徒も自分の意見と他人の意見を比較して判断し、その考えを互いに深め合う活動を設定していきたい。

- 指導に当たっては、「つかむ」「調べる」「考え・まとめる」という学習過程を意識した単元計画を立て、「つかむ」段階で生徒と共に学習問題を設定することで、学習の見通しをもたせ、主体的に学ぼうとする意欲を喚起させる。その後、日常に起こりうる問題に対して、どのような見方や考え方ができるか考えさせる。1時間の授業の中では、できるだけ他の意見を見聞きする時間を設定し、自分の意見と比較を行わせる話し合い活動を通して、なぜその選択をしたかという理由を明確にさせながら、進めていきたい。また、多面的・多角的に考察し、判断したことを表現させる場面ではICT教材を適切に活用し、対立と合意、効率と公正などの現代社会の見方や考え方を身に付けさせ、最終的に、「私たちにとってきまりとはなんだろうか」といった学習問題に対する自分の考えをまとめさせたい。また言語活動においては、レポートや図や表を使った表現活動を取り入れる。これにより、説明する力や論述する力を培いたいと考える。

3 単元の目標

- (1) 社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義に対する関心を高め、それらを意欲的に追究させる。

【関心・意欲・態度】

- (2) 社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現させる。

【思考・判断・表現】

- (3) 社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりさせる。

【資料活用 of 技能】

- (4) 社会生活における物事の決定の仕方，きまりの意義と，現代社会を捉える見方や考え方の基礎としての対立と合意，効率と公正などについて理解し，その知識を身に付けさせる。

【知識・理解】

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
○社会生活における物事の決定の仕方，きまりの意義に対する関心を高め，それらを意欲的に追究しようとしている。	○社会生活における物事の決定の仕方，きまりの意義について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	○社会生活における物事の決定の仕方，きまりの意義に関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	○社会生活における物事の決定の仕方，きまりの意義と，現代社会を捉える見方や考え方の基礎としての対立と合意，効率と公正などについて理解し，その知識を身に付けている。

5 単元計画（全4時間 本時1/4）

過程	主な学習活動	教師の働き掛け(○)	主な評価(・)評価の観点【】	時配
つかむ	○わたしたちにとってきまりとは何かを考え，学習問題を設定し，学習の見通しをもつ。	○修学旅行でのきまりを事例に，ルールやきまりの意義について考えさせ，単元の見通しをもたせる。 ○生徒の気付きや疑問を基に，学習問題を設定する。	・学習問題について考え，その解決のために調べたいことを考えようとしている。 【関】	1
	【学習問題】わたしたちにとってきまりとは何だろう。			
調べる	○日常生活の中のきまりを振り返り，みんなが納得できる解決策について話し合う。	○修学旅行のきまりを基に，お互いが納得できる決め方について考えさせる。	・具体的な事例の解決に向けて，多面的・多角的に考察し，対立と合意，効率と公正の考え方を理解している。 【知】	2

調べる	○日常生活の中のきまりを振り返り、みんなが納得できる決め方について話し合う。	○各班の提案を基に、修学旅行のきまりをつくる体験を通して、物事の決定の仕方やきまりの意義について考えさせる。	・物事の決定の仕方やきまりの意義について資料を収集し、適切に選択して読み取っている。 【技】	
考え・まとめる	○日常生活の中のきまりを振り返り、決まっている事の内容を評価し、よりよい解決策について話し合う。 ○これまでの学習を振り返り、学習問題について自分の考えを記述する。	○資料を基に、きまりを評価する視点について調べさせ、きまりを吟味し、より良い解決策を考えさせる。 ○単元の学習を振り返り、調べて分かったことを根拠に理由を付けて、学習問題に対する最終的な自分の考えを記述させる。	・きまりを評価する視点について資料を収集し、適切に選択して読み取っている。 【技】 ・様々な視点を基に、自分の考えを整理して、意見をまとめている。 【思】	1

6 本時の目標

修学旅行でのきまりを事例に、「わたしたちにとってきまりとは何だろう」について考え、これから調べたいことについて記述することができる。

7 展開(全4時間 本時1/4)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
1 本時の学習の流れを確認し、めあてを設定する。	○本時の学習のゴールをイメージさせるために、電子黒板を用いて、本時の学習の流れを示す。 めあて わたしたちにとってきまりとは何かについて考え、自分の意見を書こう。
2 修学旅行を振り返り、きまりについて考え、学習問題を設定する。	○修学旅行を事例に、日常の選択や決定について問題意識を高めさせ、きまりについて考えていくことを確認しながら、学習問題を設定する。 ○写真資料を基に生徒との対話を通して、修学旅行のきまりを守って行動していたことに気付かせ、きまりの意味や意義を明らかにしていくことを理解させる。 【学習問題】 わたしたちにとってきまりとは何だろう。
3 わたしたちにとってきまりとは何かについて考え、自分の意見をワークシートに記述する。	○正しい解答を求めるのではなく、予想を基にした自分の意見として考えをまとめて書くように伝える。
4 グループによる話し合い活動を行い、意見をまとめる。	○司会・記録・発表・掲示の係を決め、グループによる話し合い活動を通して、積極的に自分の意見を伝え合うように促す。話し合いが進まないグループには、具体的な例を考えるように伝える。

<p>5 グループでまとめた意見を発表する。</p>	<p>○グループの意見に対して、「たとえば？」と問い返し、具体的な例をイメージさせたり、「つまり？」と問い返し、具体的な事実や情報を結びつけて考えさせたりする。</p> <p>○お互いの考えを共有させるために、グループの意見に対して、「どう思う？」と他の生徒につなげ、教師と生徒、生徒と生徒の対話を促す。</p>
<p>6 グループから出た意見を生かして、学習の見通しをもつ。</p>	<p>○追究する視点を立てさせるために、グループの意見をカテゴリー分けしながら、これからの学習で確かめたいことを確認する。また、学習の見通しをもたせるために、対話を通して生まれた気付きや疑問を生かして、調べる内容を整理する。（対立と合意、効率と公正、決定や採決の仕方、評価と見直し）</p>
<p>7 本時の学習問題を振り返り、自分の考えや調べたいことをワークシートに記述する。</p>	<p>○本時の学習を振り返らせ、きまりについて自分の考えをまとめさせる。</p> <p>○教科書の資料から必要なものを選択し読み取った情報や他の意見を聞いて気付いたことを、自分の考えたことの根拠や理由として示すように促す。</p>
<p>8 次時の学習内容を知る。</p>	<p>○対立と合意、効率と公正について学習することを確認する。</p>

8 本時の評価

<p>評価規準</p>	<p>修学旅行でのきまりを事例に、「わたしたちにとってきまりとは何だろう」について考え、これから調べたいことを記述している。 [関心・意欲・態度]</p>		
<p>判断する めやす (判定基準)</p>	<p>十分満足できる状況(A) 学習問題について、これから調べたいこと及び調べる方法を記述している。</p>	<p>おおむね満足できる状況(B) 学習問題について、これから調べたいことを記述している。</p>	<p>努力を要する状況(C) (B)に達していない記述</p>
<p>→(B), (C) と判断した生徒への支援</p>		<p>→どのような方法で調べるのか問い掛ける。</p>	<p>→机間指導を行い、キーワードを示しながら、語句をつなげるように指示する。</p>
<p>評価方法</p>	<p>ワークシートの記述, 観察</p>		